

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3874000353
法人名	御荘福祉施設協会
事業所名	グループホームみしょうの里
所在地	南宇和郡愛南町御荘平城2020番地
自己評価作成日	平成22年6月28日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年7月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

古い民家を改修して造られている為、今まで生活してきた延長のような暮らしが、懐かしさと安心感を与えていると思います。裏の畑での季節ごとの野菜作りや庭での花植え、買い物や洗濯物たたみテレビを見たり散歩をしたり、どこのご家庭でも当たり前前に送っている日常を過ごして頂いています。地域との繋がりも少しずつですが増えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

民家改修型の事業所で広さ等には制限があるが、障子やふすま、しつらえ等も利用者の年代には懐かしい雰囲気がある。居間のソファから台所の椅子まで職員の介助で歩行されたり、ちょっと場所を譲ってもらう等、利用者同士でも労り合いながら生活しておられた。裏の畑にはスイカやさつまいも、かぼちゃを育てておられ、庭には季節のお花が楽しめるようにされている。庭先にはベンチやいすも設置されていた。

今日の献立をホワイトボードに書いて居間に掛けておられ、利用者との話題にされている。男性の利用者が食材の買い物と一緒に行ってくださったり、テーブルを拭いたり、食欲がないような方にはやさしく声をかけてくださることもある。ご自分の力をできるだけ使って食事ができるように個々に合わせて調理されているが、好きなお寿司やおまんじゅうは、見ても楽しまれ、職員が見守りながら、そのままの形で食べられるように見守っておられ、できる限り口から食事ができるよう、職員は気長に介助をされている様子がうかがえた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない 	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない 	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 		<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームみしょうの里

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

北原恵理

評価完了日

平成22年6月28日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念を基に利用者一人ひとりの思いや、その人らしい生活を送って頂けるよう支援を行っているが、職員本位になっていると感じる場合もある。ミーティングや職員会議で話し合いを持ち確認し共有している。	
			(外部評価) 事業所の理念を「日々の暮らしの中で語り合いその人らしい生活を支援する」と掲げて、職員は、利用者とのコミュニケーションを大切にしながら支援に取り組まれている。地域との交流を通じて、利用者個々が、地域の方達とふれ合いながら、その人らしく生活ができるよう取り組みをすすめておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 毎週月曜日に参加できるときは地域交流センターで地域の方々とカラオケ交流を行っている。また月一回の保育園児の来訪あり利用者との交流を深め喜ばれている。他にも各行事（ソーメン流し・花火見物・地方祭・クリスマス会等）や避難訓練、運営推進会議等協力して頂いている。日常的には、野菜などをいただく事があるが、ホームに立ち寄って話したりといった交流は少ないと感じている。	
			(外部評価) みしょう祭りの花火大会の際には、事業所に近所の方や子ども達が集まり、おにぎり等、軽食を振る舞っておられる。近所の方が「畑の野菜を取りにおいで」と呼んでくださる時には、利用者とともにうかがったり、地域交流センターで地域の方達がカラオケを楽しまれる際には、歩いて出かけておられる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議や地域との交流の中で少しずつではあるが、認知症についての理解を深めて頂いている。要望があれば実習生を受け入れている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>二ヶ月ごとの運営推進会議で利用者の状態や日常の活 動内容、行事予定等報告している。話し合いの中で気 付きや質問、意見等頂きサービスの向上に活かしてい る。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議は、地域の代表者の方に司会をお願いしてすすめ ておられる。事業所からは、利用者の状態や行事等を 報告して、出席者からご意見をうかがうようにされて いる。町内の他グループホームを見学して、良い点を 採り入れられるように話し合われたこともある。</p>	<p>会議を貴事業所のサービスの向上につなげていけるよ う、すすめ方や会議内容等、さらに工夫を重ねていか れてほしい。ご家族の参加を増やしたり、事業所にか かわるいろいろな立場の方に出席いただけるよう声を かけてみてはどうだろうか。又、会議に出席されてな いご家族等にも会議内容を報告して、事業所のサービ ス等について具体的にご意見をうかがってみてはどう だろうか。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>二ヶ月ごとの運営推進会議に市町村担当者の方にも必 ず出席して頂きホームの活動内容や行事予定等報告し ている。また花火大会見物呼び掛けたりはしている が特別な時のみで日頃からの連絡を取り合うといった ような協力関係はあまり築けていない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議に出席いただいた際には「町としてはIH クッキングヒーターへの変更を勧める」という考えを 示され、事業所では、安全性のことも検討してIHクッ キングヒーターに変更をされていた。</p>	<p>会議を貴事業所のサービスの向上につなげていけるよ う、すすめ方や会議内容等、さらに工夫を重ねていか れてほしい。ご家族の参加を増やしたり、事業所にか かわるいろいろな立場の方に出席いただけるよう声を かけてみてはどうだろうか。又、会議に出席されてな いご家族等にも会議内容を報告して、事業所のサービ ス等について具体的にご意見をうかがってみてはどう だろうか。</p>
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>月一回実施される母体の特養での身体拘束高齢者虐待防止委 員会や職員研修会に参加し研鑽している。職員会議の中でも 話し合いを持ち職員全員で周知し拘束しないケアに取り組ん でいる。利用者の方が不意に庭に出た場合でも見守り寄り添 いながら、声をかけ散歩に誘ったりと気分転換を図り落ち着 くまで対応している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>法人で行われる研修会には、ほぼ全員の職員が参加さ れており、身体拘束や虐待等についての知識等を勉強 されている。又、県GH協議会の職員研修にも積極的に 参加して勉強をされている。</p>	<p>会議を貴事業所のサービスの向上につなげていけるよ う、すすめ方や会議内容等、さらに工夫を重ねていか れてほしい。ご家族の参加を増やしたり、事業所にか かわるいろいろな立場の方に出席いただけるよう声を かけてみてはどうだろうか。又、会議に出席されてな いご家族等にも会議内容を報告して、事業所のサービ ス等について具体的にご意見をうかがってみてはどう だろうか。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 月に一回実施される身体拘束高齢者虐待防止委員会や職員研修会に参加し研鑽している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 南予地区研修会や母体の特養での職員研修会に参加し、知識を深めるための勉強会を行っている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用契約に関する説明書を見て頂き、疑問点や不安、心配な点をお聞きしながら説明を行い、理解・納得を図っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の方については日頃の言動から思いを汲み取れるよう努めている。ご家族には来訪時や電話等で意見や要望等言っていただけるような雰囲気作りに留意しているが具体的な意見を言われることは少なく意見交換の場の機会を設けていく必要がある。 (外部評価) 4月に管理者、職員の交替があった際には、ご家族の面会時等にあいさつをされ、お話をされる等、関係を作っていくように努力をされている。利用者一人ひとりの「一日一言」を記録して、毎月、法人全体の便りとともにご家族に届けておられ、ご家族からは「ホームでの本人の生活の様子がよくわかり、うれしい」と感想をいただいた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日々のミーティングや月一回の職員会議に施設長や担当事務職員も同席し、意見を出し合い話し合いを行っている。決定された意見や提案を反映させるよう努めている。	
			(外部評価) 職員は、提案やアイデア、又、疑問に思うこと等を管理者に話して、一緒に考え話し合うようにされている。職員が提案したことがむずかしいような場合は、管理者がその理由を職員にしっかり伝えるようにされている。庭に敷かれた砂利で車いすが押し辛かったが職員からの提案もあり、通り道を舗装されていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 人事考課表の活用や個別の面談等を行い職員の意見を聞き状態を把握している。また現場に足を運び業務の様子を観察し、職員が向上心を持って働けるよう助言や指導を行っている。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 母体である特養が毎月実施している職場内研修会や新人研修に自主的に参加し資質の向上に努めている。研修報告書は特養を含め全職員が閲覧できるようにしている。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 母体の特養発刊の機関誌を送付したり広報誌が送られてきたりして情報交換をしている。また見学や研修等を受け入れたり、させて頂いたりしながらサービスの向上に努めている。	
			(外部評価)	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前に自宅を訪問し利用者本人とご家族から十分に話を伺う機会を設けている。利用者の様子やその思いを報告し職員全員で受け止める努力をしている。不安な様子であれば日中の何時間かを2～3日通所で過ごす頂き安心へと繋げている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>事前にご家族からの心配事や不安な事、要望等充分に話を伺っている。ご家族の思いに真摯に対応し今後も気楽に何でも相談してもらえるような信頼関係づくりに努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談時、ご本人やご家族の思い、状況等を確認し改善に向けた支援の提供を行い必要なサービスに繋げるよう支援を行っている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>人生の先輩として教わる事が多く、そんな場面では必ず感謝の言葉を伝えている。今までの人生の中で培って来られたことに対して敬意をはらい楽しく穏やかに生活して頂けるよう努めている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族と情報交換を行いながらご家族の思いを把握し職員もその思いに応えられるよう努め信頼関係を築いている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域に暮らす馴染みの知人や親戚の方が時折、訪ねて来て積もる話に花を咲かせたり、長年住み慣れた我が家に帰り懐かしがられたり、これまで大切にしてきた馴染みの関係や場所が途切れることのないよう支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族が、ひ孫さん等の写真を大きく引き伸ばしアルバムにして持って来てくださっている方もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者一人ひとりの性格や特徴を把握し利用者全員が居間に集まり楽しく過ごせるよう支援している。毎日のお茶や食事時間は職員も一緒に会話に入り、利用者同士の懸け橋となり関わり合いが持てるよう配慮している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 体調低下に伴い、病院に入院したり亡くなられた方もおられるが、そのご家族の方と地域のスーパー等で会った時は声を掛けたり、掛けられたりして近況を伺ったり、思い出話に懐かしんだりと関係を大切にしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 言葉のみならず表情や行動、態度からご本人の思いや気持ちを汲み取るよう努めている。今、何を考え何を求めているのか、時に見過ごしてしまいがちである為、しっかりと向き合っていけるよう努めていく。 (外部評価) 入居時にご本人やご家族から以前の暮らしぶりについてお聞きしたり、3カ月ごとに利用者個々の状態をアセスメントして、介護計画を作成しておられる。職員は、日々の利用者とのかわりの中から個々の思いを知り得ておられ、「さみしい」と言われる利用者への対応等について、さらにご本人に寄り添っていけるよう職員は話し合いながら対応を考えていきたいと話しておられた。	現在、事業所では利用者の重度化に直面しておられる。今後さらに、利用者個々の思いや意向を大切にしていって「その人らしい生活」の支援に取り入れていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用されるまでに自宅等を訪問し、ご本人やご家族からこれまでの生活歴や環境等聞き取るようにしている。また職員間で情報を共有できるよう話し合いを行っている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 利用者一人ひとりの生活リズムを把握し得意なこと、出来ることをして頂き喜びや満足感を持って、その人らしい生活が送れるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>面会時や電話等でご家族からの希望や要望をお聞きしたり、利用者ご本人の思いをお聞きし介護計画に反映できるよう職員間で話し合い、作成したりモニタリングを行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人の希望やご家族の要望をお聞きして、センター方式を用いて身体機能等もアセスメントして計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別のファイルにサービス内容への実践、評価等記録し、日々の様子は毎日、短文ではあるがその日の出来事や気づき等書いている。また介護計画見直し時には24時間生活変化シートを活用している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人やご家族の状況や要望に応じたサービス内容になるよう努めているが三ヶ月毎の見直しの為、サイクルが早く似たようなサービス内容になる傾向にある。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地区や民生委員の方に参加して頂きながら運営推進会議を行い、話を聞いて頂く機会を設け、地域の方と交流できる場を提供してもらい繋がりがもてるよう支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人やご家族が希望するかかりつけ医となっ ている。受診時、ご本人やご家族の希望に 応じて対応しているが都合等つかない時は 職員が対応を行っている。また利用者の 状態により訪問診療に来ていただく場合 もあり早急に対応して頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>点滴やバルンカテーテル等を施しておられ る方もあり、母体施設の看護師の方や 看護師資格を有する職員が体調等も 管理しながら、ご本人が事業所で できるだけ過ごすことができるよう 支援されている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>看護職員を配置しており常に利用者の健康 状態や状態変化に応じた支援を行えるよ うにしている。母体の特養の看護師も週 に一度来訪し、利用者の状態把握に努 めるなど体制を整えている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院 できるように、病院関係者との情報交換 や相談に努めている。または、そうした 場合に備えて病院関係者との関係づく りを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院時には本人への支援方法に関する 情報を医療機関に提供し、頻りに職員 が見舞い安心とストレスの軽減に向 けて支援している。ご家族とも情報 交換しながら回復状況等、速やかな 退院支援に結びつけている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と 支援 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し 合いを行い、事業所でできることを 十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>重度化に伴う意思確認書の作成、説明 を行い同意をもらっている。ご本人 やご家族の意向を早い段階でお聞き し、対応が可能なこと、困難なこと、 不安等の話し合いを行い、かかり つけ医との連携のもとホームで 利用者一名を最期まで看取り、 ご家族からも労いのお言葉を頂き、 喜ばれていました。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人ご家族には、入居時やカン ファレンス時に、重度化した場合 や終末期のあり方について説明し て希望をお聞きしており、ほとん どのご家族は「事業所で最期まで お願いしたい」と希望されている。</p>	<p>職員は「最期まで利用者がご本人 らしくいられるよう支援したい」と 考えておられる。事業所は、介護 度重度の利用者も多く、さらに 職員個々のスキルアップへの取 組みもすすめていきたいと思 っておられる。又、ご家族の協 力を得られるよう働きかけたり、 さらに、ご本人の意向も探りな がら取り組みをすすめていか れてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 年に一回、消防署の協力を得て行われる母体の特養での救急救命法の学習会に参加したり、職員学習会や職員会議で定期的に勉強会を行いながら研鑽している。突発的に発生する事故や急変時に対しては、その場に居合わせたとき慌てず落ち着いて対応できるよう日頃からの心構えや更なる努力が必要である。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 日中と夜間の火災を想定しての避難訓練を年二回実施している。地域の方の協力もあり意見等頂いている。今年是非常口通路が砂利だった所を舗装し、車椅子もスムーズに移動できるようになった。(ガスコンロからIHコンロへ変更) (外部評価) 地域の方達とともに避難訓練を行っておられ、いざという時、地域の方達は、ホームの外に避難した利用者を安全な場所まで誘導して下さるようになっていいる。又、地震等の災害時を想定した地域合同訓練にも参加された。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 職員研修会や職員会議等の中で職員の意識向上を図り、利用者の誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応を心がけてはいるが時折、自尊心を傷つけるのではと思われるような言葉使いがみられ、配慮が足りなかったのではと思う時がある。 (外部評価) 職員は、どのような時にも利用者に「やさしく接したい」と話しておられた。	事業所では「忙しい時間帯等、職員に余裕がないような時、気になる言葉が出る」と感じておられる。事業所が気付かれたことは、サービス改善への最大の起点でもあり、今後、職員で利用者の立場に立ち点検したり、話し合われてみてほしい。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者の思いや希望を汲み取り出来る範囲で応えられるよう支援している。些細なことでも声をかけて利用者が自己決定出来るよう働きかけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 周辺の散歩やドライブ等利用者一人ひとりの状態や思いに配慮しながら対応している。畑の作物が気になる利用者には一緒に手伝ってもらったり、好きな時代劇や歌謡番組を楽しんでももらったり、自室で休んだりと本人の希望に添った支援を行っている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) ご本人の好みに合わせてご家族が衣服を持参されている。外出時、お出かけするときは好みの服を選択してもらい、おしゃれや身だしなみに配慮している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者が出来る範囲のお手伝い(ごぼうのささがき、豆のすじ取り等)して頂いている。利用者の機能に合わせて食事形態の工夫を行い自分で美味しく食べれるよう支援している。	
			(外部評価) 今日の献立をホワイトボードに書いて居間に掛けておられ、利用者との話題にされている。男性の利用者が食材の買い物に一緒に行ってくださいたり、テーブルを拭いたり、食欲がないような方にはやさしく声をかけてくださることもある。ご自分の力をできるだけ使って食事ができるように個々に合わせて調理されているが、好きなお寿司やおまんじゅうは、見ても生まれ、職員が見守りながら、そのままの形で食べれるように見守っておられ、できる限り口から食事ができるよう、職員は気長に介助をされている様子がうかがえた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 母体である特養の管理栄養士が献立表を作成。その献立を基に食事作りを行っている。利用者の状態に応じて柔らかくしたり、刻んだりと摂取しやすい工夫をしている。摂取量や水分量は常に確認し、栄養の偏りや水分不足に気をつけている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアの声掛けを行い利用者の状態に応じて見守ったり、用具を準備したり、介助を行っている。歯磨き後、口腔内を確認し磨き残しがあれば再度ブラッシング等支援している。月に一回程度、嘱託医の歯科医師や歯科衛生士の指導や助言を頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表を活用し尿意の訴えない利用者は声をかけ時間を見計らって誘導しトイレで排泄できるよう支援している。夜間、頻繁にトイレに通う利用者にはポータブルトイレを併用する等工夫を行っている。	
			(外部評価) 利用者の体調や状態にも合わせ、おむつ等の介護用品を使用して体に無理のないようにされていたり、ご自分で排泄したいという意欲のある利用者には、居室のベッドの近くにポータブルトイレを置いて、ご自分が移動して排泄できるようにされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 食事やおやつに繊維質の多い食材や乳製品を取り入れている。体操や散歩等、身体を動かすことを日課とし自然排便できるよう取り組んでいるが、中には便秘薬を使用している利用者もいる。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴前にはバイタル測定し、日中の様子を観察した上でご本人に希望を確認し入浴して頂いている。利用者の健康状態に合わせて入浴回数を調整し、清潔保持できるよう清拭を行っている。	
			(外部評価) 介護度が重度の利用者も浴槽で温まることができるよう、職員が2名で介助されたり、毎日、又、1日交代で利用者の希望や体調に合わせて入浴を支援されている。又、皮膚の弱い方には特に、清潔に保てるよう気を付けておられる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者一人ひとりの状態を考慮し、日中の活動を促したり自室で休息したり、夜間は希望により好きな時代劇や歌謡曲等、テレビを見て過ごして頂いたりしている。ご本人の希望に添って、安心してゆったり休めるよう配慮している。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬の処方箋等、利用者毎に整理し職員が内容を把握できるようにしている。服薬時は本人に手渡したり口元まで介助するなど状態に応じて支援している。看護職員と医療機関との連携も図れている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 食事の下ごしらえや洗濯物たたみ、畑仕事等、経験や出来る力を活かせるよう場面作りを支援している。経験豊富で野菜作り等、職員が教わることも多く役割、生きがい、楽しみを感じておられる。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 利用者の希望に添って周辺の散歩やドライブ、庭で過ごす等の支援を行っている。また食材の買い出しに付き添って頂いたりしている。桜の花見や鯉のぼり見物、薔薇、菖蒲、コスモス見物に出かけ季節感を味わって頂いている。	
			(外部評価) 職員とともに食材の買い物に出かけたり、季節のお花見に出かけておられる。玄関等、外に出る時には段差があり、現在は、ご自分の力で上がり降りできる利用者は少ないようであるが、さらに、車いすを利用している利用者もちょっと外に出て過ごせるよう、設備や機会を作っていかれてはどうだろうか。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご本人が所持されている利用者は現在、おられないが外出時には財布に少額所持し買い物した場合は、ご本人より直接支払って頂くこともある。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者の希望により職員がダイヤルして直接話して頂き、喜んで頂いている。またご家族や知人から掛ってきた電話にもご本人に替わり話している。手紙が来ることはほとんどなく年賀状や贈り物のあった時はお礼の電話を入れている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>古い民家を改修している為、トイレや食堂等居住空間が狭いが、慣れ親しんだ我が家の延長のような居心地の良い安心した暮らしをして頂いている。玄関や居間には季節ごとの飾り付けやお花を生け楽しんで頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>民家改修型の事業所で広さ等には制限があるが、障子やふすま、しつらえ等も利用者の年代には懐かしい雰囲気がある。居間のソファから台所の椅子まで職員の介助で歩行されたり、ちょっと場所を譲ってもらう等、利用者同士でも声を掛け合ったり、スキンシップもある。裏の畑にはスイカやさつまいも、かぼちゃを育てておられ、庭には季節のお花が楽しめるようにされている。庭先にはベンチやいすも設置されていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居間を共用の場とし、利用者同士の交流に役立てている。また自室を利用し気ままに過ごして頂けるよう配慮している。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ご自分が長年使い愛着のある椅子やタンス等を自室に置いたり、家族の写真や観葉植物、ぬいぐるみ等飾り、居心地よく暮らせるような工夫をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>一部屋一部屋が違う間取りで、窓から畑の野菜の成長を見るのを楽しみにされている方もいる。時間を気にされる方には、時計が見える位置に置かれたり、テレビを置いておられる居室も見られた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>古い民家を改修した造りの為、利用者にとっては馴染みがあり落ち着ける空間となっている。段差のある箇所もいくつかあるが、見守りながら安全に生活が送れるよう支援している。</p>	